

平成29年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立つばさ総合高等学校 全日制課程		進路実績 4年制大学 53% 短期大学 6% 専門学校 26% 就職 5% その他 10%	
	夢と希望がふくらむ自分だけの時間割 ~キャリア教育と多様な学びで希望進路の実現をサポートする学校~		基 礎 情報 習熟度別・少人数制授業 個別の科目選択・進路選択指導 多様なキャリア教育	
所在地	〒144-8533 大田区本羽田三丁目11番5号		電話番号 03-5737-0151	
	アクセス (1) 京浜急行空港線 大鳥居駅下車 徒歩8分 (2) (3)		基 礎 情報 陸上競技部(関東大会出場)、サッカー部(都16)、テニス・バドミントン・バスケットボール等(都上位) 吹奏楽部(都金賞)	
本学	総合学科		学校評価 生徒の学校満足度81% 保護者の学校満足度84% 地域の学校活力度85%	
	在籍生徒数 総合学科 709名(男子346名 女子363名)		入 学 情 報 募集人員 推薦:72名 一般:164名	
教育課程の特徴	単位制 特色ある豊富な選択科目から自由に科目履修 習熟度別授業(英語・数学) 少人数制授業 TT授業(情報・第二外国語等) 市民講師による高度な専門的授業		27年度入学生 推薦 男女 3.38 28年度入学生 推薦 男女 2.85 29年度入学生 推薦 男女 2.76	
	ホームぺージ http://www.tsubasa-h.metro.tokyo.jp/ 自律経営推進予算 29年度(単位:万円) 3,000万円		27年度入学生 学力検査 男女 1.49 28年度入学生 学力検査 男女 1.29 29年度入学生 学力検査 男女 1.36	
その他	ISO14001認証校	校 服 制服	その 他 推薦入試で発想表現力検査、文化・スポーツ等特別推薦(サッカー:男4、陸上:男女4、バスケットボール:男女4 美術・デザイン:男女2)	
		男子ブレザー(紺) 女子ブレザー(紺)	主 要 事 業 つばさゼミ合宿(1年4月)、飛翔祭(体育祭6月)、銀翼祭(文化祭9月)、修学旅行(2年)	

目指す学校 「主体的・能動的学習の重視、キャリア教育の推進、特別活動・環境活動の実践、家庭・地域との教育連携」で社会貢献する人材を育成する学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価															
目 標 ①	自学習の習慣化により、生涯学び続ける意欲・態度の育成 ・習熟度別・少人数制授業・TT授業による基礎・基本の徹底 ・スタディーサポートや模試等を活用した学力向上 ・朝学習、補習・講習、資格・検定の奨励による発展的・応用的学力の向上 ・小テスト・宿題・課題の頻出、自習室等の整備による自学学習習慣の確立 ・授業時数確保及び予習・復習意欲を高める授業改善研修の実施	習熟度別授業、少人数授業、TT授業により、基礎基本の徹底を図るとともに、ICT活用授業、実験・実習、アクティブラーニング等の多様な学習形態を取り入れ、生徒の興味・関心を喚起しつつ主体的・能動的な学習活動を促進してきた。昨年度の学カスタンダードの結果を踏まえ、朝学習、補習・講習の充実、小テスト・宿題・課題の頻出、資格・検定取得奨励等に加え、クラッシを導入することにより、自学学習時間が増加し、スタディーサポート等の結果分析によると学力は上昇傾向にある。行事の準備時間縮減等により、授業時間確保に努めるとともに、研究授業、教員相互授業参観、専門家による授業観察等を通して一層の授業力向上を図ってきた。															
目 標 ②	キャリア教育の充実により、基礎的・汎用的能力の育成 ・産業社会と人間、人間と社会、総合的な学習の時間等でキャリア教育推進 ・各種学習成果報告書及び発表会を充実し、基礎的・汎用的能力の向上 ・きめ細かい教育相談により、的確な科目履修・進路選択・進路決定の実現 ・進路指導用DBや受験用学習ソフトを活用し、希望進路実現率を向上 ・国公立・難関私大に進学できる指導体制の強化	産業社会と人間、人間と社会、総合的な学習の時間では、調べ学習、ディベート、職業人インタビュー、上級学校訪問、レポート作成、プレゼンテーション等の多様な学習形態を取り入れ、基礎的・汎用的能力の育成に努めた。2回の科目履修相談週間では、全教職員体制で生徒の個別指導を展開し、加えて2者面談・3者面談を行い、相互理解を図りつつ的確な科目選択指導を展開してきた。ファインシステムの稼働率が向上し、データに基づく的確な進路指導体制が整備されつつある。校内・外部で模擬試験を受験できる機会を増やし、生徒の大学進学への意識を高める一方、大学教授や大学進学予備校の講師を招聘し、大学受験ガイダンスを開催するなどして、進路実績を向上することができた。															
目 標 ③	特色ある教育活動により、社会に貢献する意欲・態度の育成 ・生徒主体の企画・運営による各種行事、部活動、生徒会・委員会活動等を活性化し、自主・自律・自治力の向上 ・ISO環境教育活動を通して、持続可能な社会を実現する姿勢・態度の育成 ・防災教育を推進する学校として、自助・共助・公助の精神を涵養 ・家庭・地域と連携した教育により、自己有用感や社会貢献する姿勢を育成	飛翔祭(体育祭)は、500名以上の保護者が詰めかけ、銀翼祭(文化祭)は2800人の来場者で賑わった。各種委員会が学校生活に関わる課題に対応するマンスリーキャンペーンを企画・実施する等、生徒の自主・自律・自治力が向上した。ISO環境活動では、文化祭のカーボンオフセット、環境省主催環境教育実践力強化研修会の会場招致、プロバスケットボールの試合会場における環境ボランティア等の新たな取り組みがあり、サーベイランスで優良の評価を頂いた。蒲田消防署と地元消防団の支援の下、本格的な防災訓練が行われ227名が救命講習修了証を取得した。陸上競技部が関東大会出場、運動部の多くが都上位の成績、文化部も地域イベント等で活躍し大田区長や羽田特別出張所長をはじめ、近隣の方々から感謝されている。															
数 値 目 標	今年度の数値目標の内容						26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	31年度	32年度
							目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
	目標①	希望進路実現率の向上					90%	91%	90%	88%	90%	91%	90%	89%			
	目標②	入選実質倍率の向上					1.4	1.49	1.5	1.29	1.4	1.36	1.4	1.34			
目標③	ISO14001活動の目標値の達成(省エネ・再利用・再資源化の促進)					3%減	達成	2%減	達成	2%減	達成	2%減	現状維持				